

松山コウヘイ&デアリングタクト

クラス:ライダー

所持特性:サーヴァント、人属性、中立属性、善属性、人型、男性、女性、王、騎乗、今を生きる人類

BBQAA

クラススキル

騎乗:C+

自身のQuickカード性能アップ

鉄人:B+

自身の防御力を少しアップ+自身のHP回復量をアップ

スキル1 謀勇兼備:A

自身のBusterカード性能をアップ(3T)&Artsカード性能をアップ(3T)&味方全体の宝具威力をアップ(3T)

スキル2 不撓不屈:A

自身にガッツ状態を付与(1回・5T)+「ガッツ発動時もう一度ガッツを付与する」(重ねがけ可能)状態を付与(1回)

スキル3 希望の運び手:EX

味方全体の弱体状態を解除&毎ターンHP回復状態を付与(3T)&毎ターンNP獲得状態を付与(3T)

B全体

宝具「地平線の果て、夢の華は開く」(ブルーミング・ビヨンドホライズン)

自身の宝具威力アップ(1T)&自身の攻撃力アップ(3T)[オーバーチャージで効果量アップ]&敵全体に強力な攻撃

バトル開始1	タクト「行くわよコーヘイ、ついてきなさい！」 松「あんまり気負いすぎないでね」
バトル開始2	松「頑張ろうね、タクト」 タクト「言われなくても！」
スキル使用1	松「絶対に諦めない」
スキル使用2	タクト「いいわ、やってあげる」
スキル使用3(1・2限定)	(フーッ...ブルルル) 松「落ち着いて、タクト」
スキル使用4(3限定)	タクト「指揮棒じゃないんだけど…」
コマンドカード1	松「わかりました」
コマンドカード2	松「それだね」
コマンドカード3	松「了解です」
コマンドカード4	タクト「それ？」
コマンドカード5	タクト「まあまあね」
コマンドカード6	タクト「任せなさい」
宝具カード1	松「タクト、全力疾走」 タクト「ふふっ、待ちくたびれたわ」

宝具カード2	タクト「三冠の誇り、見せてあげるわ」 松「うん、見せてやれ」
アタック1	松「それ！」
アタック2	松「ハイヨー！！」
アタック3	松「気は乗らないけど！」
アタック4	タクト「踏み潰す！」
アタック5	タクト「喰らえ！」
アタック6	タクト「私の邪魔をするなあああ！」
エクストラアタック1	タクト「合わせなさいコーヘイ！」 松「了解！」
エクストラアタック2	松「タクト行くよ！」 タクト「上等、やるわ！」
宝具1	タクト「_____桜、檉、秋。三種(みくさ)の華よ、明日に、遠き未来まで咲き誇れ！『地平線の果て、夢の華は開く』(ブルーミング・ビヨンドホライズン)！」
宝具2	松「_____君はデアリングタクト。夢を叶え、不可能を可能にした者。瑕疵なき王冠はその頭上に輝くだろう、『地平線の果て、夢の華は開く』(ブルーミング・ビヨンドホライズン)！」
ダメージ1	松「ちょっとさすがにこれは……！」
ダメージ2	タクト「覚えてなさいよアンター——！！」
ダメージ3	松「いたたたた」
ダメージ4	タクト「あったま来た！」
戦闘不能1	松「っ…ごめん、タクト…」
戦闘不能2	タクト「…ここで倒れてたまるものですか！…私は、私は、無敗の三冠なんだからあ…！」
勝利1	松「タクト、怪我はない？」
勝利2	タクト「勝利！ やっぱり勝つのっていいわね！」
レベルアップ1	松「ありがとうございます。意外といけますね、この種火」
レベルアップ2	タクト「これじゃ足りないわ、もっと寄越しなさい」
霊基再臨1	タクト「ふーんふんふん、悪くないじゃない。これからもしっかり私につぎ込むのよ？ マスター」 松「無理しないでくださいね、マスターさん」
霊基再臨2	タクト「…何？ 変わらないじゃない、本当に成長してるの？ 私」 松「見た目が変わらないのはそういう仕様みたいだね、しょうがない」
霊基再臨3	タクト「ん？ んん…？ 私、人間になってない？ なぜか耳と尻尾はそのままだけど」 松「本当だ。その格好もいいね」 タクト「当たり前じゃない、私よ？…アナタもその勝負服、よく似合ってる」 松「ありがとう」
最終再臨	松「ありがとうございます、マスターさん。これが僕らの行き着く先、なんですね」 タクト「なかなかいい眺めじゃない。三冠を獲った時のことを思い出すわ。今の状態ならコントレイルにもアイ先輩にも勝てそうね！」 松「それじゃあ、やろうか、もう一度三冠対決を！」

絆1	松「ここがカルデア...すごい方達がたくさんいるんですよね？その中に自分達がいるってなると緊張します」 タクト「ん〜、となると、見劣りしないようにいい感じのダイジェスト自己紹介くらいは必要かしら。コーヘイ、なんか私たちのこと知ってもらいたい案ない？」 松「そうだなあ...」
絆2	松「そうだ、せっかくだし、もう一回チャレンジしてみない？デアリングタクトの部屋」 タクト「いいけど...今度は他の女の帽子なんか被ってこないでよ」 松「その件はごめん。確か...三冠達成までのことはもうやったんだよね？」 タクト「じゃあ、せっかく喋れるし今度は私も話してあげるわ。私の復活までの道のりをね。マスターがインタビュアーって体で」
絆3	タクト「...マスター。繋靱帯炎っていう怪我...知ってる？私、それで引退危機になったの」 松「人間で言うと足首の筋が炎症を起こした...っていう感じですかね。...この子のお父さんもそれで引退したんです」 タクト「治るまで本当に長かったわ。数ヶ月はロクに運動もできないし、体を戻すのも本当に大変だったし。それに私の復帰戦直前にコーヘイも大怪我して...本当にどうなるかと思ったわ、あの時は」 松「...でも、君の復帰戦にはどうしても間に合いたかったからね。それこそ死ぬ気で治して、死ぬ気で乗ったよ」 タクト「それでこそ私のパートナーね！」
絆4	松「復帰はヴィクトリアマイルだったね。6着だったけど...その後の宝塚記念は3着、だったね」 タクト「...本当なら勝ちたかったのだけど」 松「うん。僕も悔しかった。...強かったね、ソダンもタイトルホルダーも」 タクト「もう一回しっかりトレーニングして出直したら私が勝つわよ、絶対」 松「そうだね、僕もそう思う」
絆5(幕間の物語クリア前)	タクト「...とまあ、ざっと話してみたわ、今話せることはこんな感じ！」 松「マスターさん、ここまで付き合ってくださいありがとうございます。どうも今の僕らは2022年上半期までの記憶しか持ち合わせてないみたいで...」 タクト「きっとこれからも一緒に走っていけばいつの間にか戻ってるわよ。そうよね、マスター？アナタと一緒に走っていれば私達の欠けた記憶が埋まっていく気がするもの」
会話1	タクト「何ぼさとしてるのよマスター！外に出るかジムに行くかなさい、太るわよ！」
会話2	松「デアリングタクトについて...、...月並みの言葉になっちゃいますけど、僕にとってはなくてはならない存在ですね。」 タクト「当たり前でしょ、アナタの脳に一生消えない思い出を刻んだんだから」
会話3(第一・二再臨限定)	タクト「三冠牝馬なんだから喋れるに決まってるじゃない、他の先輩にも聞いてみなさいよ」 松「三冠って喋れるのがデフォルトなのかな...？」
会話4(第三再臨限定)	タクト「あー...人型は慣れないわね。馬の耳と尻尾はついてるみたいだけど...」 松「あれみたいだね、ウ」 タクト「コーヘイそれ以上いけない」

会話5-a(福永ユーイチ &コントレイル所持時) (第一・二再臨限定)	タクト「コントレイル、アンタそんな声してたの?!...聞くけど、ユーイチが喋ってるわけじゃないのよね?」 松「一頭でも喋ってたから本当にそういう声なんだと思うよ...」
会話5-b(福永ユーイチ &コントレイル所持時) (第三再臨限定)	タクト「...言っとくけどね、あのロールキャベツがおかしいだけだから。人型になったところで普通はキャラ変えないから」 松「馬と人で全然違うよね、コントレイル...声も変わってるし」
会話6(福永ユーイチ& エピファネア所持時)	タクト「えっアレが父さん?...他の馬に喧嘩売りまくってるあのチンピラが?」 松「こらこら...お父さんにあんまりそういうこと言っちゃダメだよ」
会話7(和田リュージ& ディープボンド所持時)	松「やっぱり同じスタンスの騎手としては意識はしますよ?一日何鞍もレースに乗って、少しでも上の順位を狙って。特に2000m叩きっぱなしで勝利を掴ませた小倉記念は尊敬します」
会話8(幸ヒデアキ&ス ティルインラブ所持時)	松「幸先輩、お疲れ様です。えっお菓子...あー...今はないですね、すみません。次は用意しておきますね」 タクト「...あの人、お供えがなきゃ暴れる祟り神か何か?」
会話9(横山タケシ&エ フフォーリア所持時)	タクト「あら、アンタもここにいるのねエフフォーリア。宝塚の時は腑抜けた顔だったけど今はいい顔じゃない。アンタとまた走れるの、楽しみにしてるわ」
会話10(横山カズオ&タ イトルホルダー所持時)	タクト「出たわね、日高の野生人馬...。...コーヘイ、アナタ鹿か熊と戦ったことは?」 松「...ないね、っていうか普通野生動物とは戦わないし戦っちゃダメだよ...」
会話11(赤兎馬所持時)	タクト「いや、私は別に喋る馬仲間じゃないわよ。腕生えてるし、アンタケンタウロスか何かでしょ。...ええ?ケンタウロスは別にいる?それで私は呂布?ええ...意味わかんない...」
好きなこと	松「やっぱりレースで勝った瞬間は嬉しいですね。あと...映画鑑賞も好きです。映画監督のサーヴァントもいるんですよ、ここ」 タクト「私はやっぱり人参ね。北海道直送を頼むわ、マスター」
嫌いなこと	タクト「追い込みきれなかったあの金鯱賞...!あれは不覚だったわ!あ”あ”ああ!思い出だけで腑が煮え繰り返りそう...あの隕石野郎...!」 松「ごめんなさい、ちょっとそっとしておいてあげてくださいね」
聖杯について	松「万能の願望機...でしたっけ?うーん、今のところは特にないですね」 タクト「私も特にないわ、そんなものに頼ったって意味ないもの。やっぱり欲しいものは自分で掴まなきゃね」 松「その通りだね」

イベント開催中	タクト「イベントよイベント！コーヘイ行くなよ！」 松「うん、はしゃぎすぎて転ばないようにね」 タクト「私を何だと思ってるのよ...」
誕生日	松「誕生日おめでとうございます、マスター。これ、おすすめの映画集です！時間があったら見てみてください」 タクト「あと...今日くらいなら特別に背中に乗せてあげなくもないわ」
召喚	タクト「あなたがマスターね？私はデアリングタクト。隣にいるのはパートナーのコーヘイ」 松「あはは...大体言われちゃいましたけど、松山コウヘイ、クラスはライダーです。よろしくお願いします、マスターさん」

キャラクター紹介

JRA・栗東所属の騎手。今回はデアリングタクト号の主戦としての姿で現界した。

デアリングタクトは単なる喋る馬.....ではなく、第6代三冠牝馬、無敗で達成したのは史上初。

ツンツンド根性娘とおっとり鉄人の凸凹コンビだが息はぴったり。

ステータス

筋力:C 耐久:A
敏捷:A+ 魔力:E+
幸運:B 宝具:A

絆1

身長/体重:167.0cm・51.0kg

出典:史実

地域:日本

属性:中立・善 性別:男性

「一生懸命頑張りますね」

第一段階

体高/体重:162cm・480kg

第三段階

身長/体重:157cm・??kg

出典:史実

地域:日本

属性:混沌・善 性別:牝

「言っておくけど熊と戦ったことなんかないから。変な誤解しないでよね。」

絆2

松山コウヘイは常に微笑みを絶やさない。おっとりした人が良さそうな顔をしているが本当に謙虚で人が良い。先輩鉄人幸ヒデアキによればレース前は1番に検量を済ませる良い子。全体的にぼやぼやしているので周囲からは心配されがちだが、レースとなれば一頭でも多くの馬に乗り一つでも上の順位を狙う仕事人。デアリングタクトのことは「なくてはならない存在」と言い切り、全幅の信頼を寄せている。

デアリングタクトは一言で言えば北条政子と称される程の苛烈な性格。負けず嫌いで、欲しいものは自分の手で掴みたがる実力主義者。誰が相手であろうがこちらがだらけていると尻を蹴飛ばし、根性が曲がっていると考えればすぐさま叩き直しにかかる。ツンツンしているように見えるがその実相棒のコーヘイのことは信頼しきっており、自分を更なる高みへ導けるのは彼だけと豪語して憚らない。

絆3

○騎乗:C+

騎乗を生業とする者だがあくまで現代人であるため、この値に収まっている。馬に乗っている間はより高い効果を発揮する。つまりデアリングタクトに乗っている間は常時2倍である。やったわねコーヘイ。

○鉄人:B+

松山コウヘイ由来のスキル。サーヴァント化に際し人と比べて傷つきにくく、傷ついた場合はその回復を早めるレンジャー垂涎のスキルを手に入れた。

○謀勇兼備:A

デアリングタクトの香港名に由来するスキル。タクトの名は指揮棒ではなく戦略を意味し、彼らは三冠達成を以ってその「大胆な戦法」が正しいと証明した。

○希望の運び手:EX

暗い時代の中に現れた希望、夢、願いの象徴としての力が形になったもの。同じ年に生まれた三冠馬もこのスキルを持っている。

絆4

宝具「地平線の果て、夢の華は開く」

ランク:A 種別:対軍宝具

レンジ:1600~2400 最大捕捉:18騎

ブルーミング・ビヨンドホライズン。

三冠の華は咲く。強く、逞しく、美しく。

明日の方を向いて誇らしげに。ターフを去っていった戦友を見送るように。彼ら彼女らが駆け抜け、そして今度は自分が駆け抜ける道を永遠に人々の記憶に刻みつけるように。いつかこの先で華やかな終わりを迎えられように。無敗の三冠牝馬ここに在りと示せるように。その日を目指して彼らは今日もターフを駆けていく。

彼らの駆けていった道は、笑顔の人々が見送ってくれるだろう。

絆5

松山コウヘイは諦めない。暑かろうと寒かろうと、雨が降ろうと槍が降ろうと少しでも多くのレースに乗り、そして勝つ。勝ち星を上げて、己を鍛えて、少しでも彼女にふさわしい相棒であろうとする。自分こそが彼女の力を最も引き出せる者という意地を張り、相棒を信じて前を向き、鞭を握る。いつか彼女が再び勝利を掴む日が来ると信じて。

デアリングタクトは諦めない。一度足を壊そうが、そのせいで走法が変わろうが、レースに出れば彼女はいついかなる時も先頭を目指し続ける。邪魔者は正面から叩き潰し、自分の前を走る者を食いちぎらんとする勢いで弾丸のように飛んでいく。いつか彼と共に再びゴール板を先頭で駆け抜ける日が来ると信じて。

彼らの記憶は特殊な召喚であるが故に2022年上半期時点のものまでしか残っていない。不明瞭な自分達の記憶に首を捻りながら、それでも彼らはいつか相棒と共に歩んだ全ての日々の記憶を取り戻す日が来ると信じて疑わない。なぜならデアリングタクトは史上初の無敗で三冠を達成し、引退寸前の大怪我からも舞い戻ってきた「不可能を可能にした」馬なのだから。

絆5+幕間の物語クリアで解放

???

絆礼装

「頂華のトロフィー」

デアリングタクトを模した三種のトロフィー。松山コウヘイがとある人物からもらった祝いの品。

桜色の桜花賞、金色のオックス、そして黄褐色の秋華賞。色とりどりの思い出を引き連れて人馬はターフを駆けて行く。